

学校関係者による評価報告

令和5年2月22日（水）実施

<p>学校評議員への 諮問内容</p>	<p>① 令和4年度の教育活動について ② 学校評価アンケート結果について ③ スクールミッションおよびスクールポリシーの再定義について</p>
<p>学校評議員からの 意見・助言等</p>	<p>○学校の整備が行き届き、地域住民も安心して過ごすことができている。 ○ホームページが非常によく作られている。 ○故郷教育の取組が様々な場面でされており、地域活性化に繋がっている。 ○マイクロライブラリーへの取組は、工業高校の活躍を広める活動になっている。ぜひ継続して取り組んでほしい。 ○エアコンの設備を県に譲渡することにより、使用制限が厳しくなるのではないかと危惧している。 ○自転車整備で他校ではあるが無灯火での走行がある。事故も含めて継続して指導をお願いしたい。 ○一人一台端末でのいじめ等については心配である。 ○入学者の増加は非常に良いこと。学校の活性化につながる。入学したいと思う生徒が増えるように取組をお願いしたい。 ○これまでと同様にスポーツに力を入れて活動して欲しい。 ○先生方が新しい学びをすることは、生徒へ新しい技術を指導するためにも積極的に取組んで欲しい。 ○送迎時の周辺での駐車がなくなり、地域にとって安心できることである。 ○検定及び資格試験の合格率で、昨年度より低下しているものが目立つ中、建設・建築系資格は健闘しているところが光明です。 ○自転車事故で車との接触が1件あり、再発防止の意識が生徒に浸透しますようお気を付けください。 ○コロナ禍でコンタクトスポーツの練習に制限が大きい中、レスリングやラグビーの活躍は快挙です。 ○全国的に求人状況が増加していますが、県内の増加の割合が九州や他地域に比べて低いのが、県の人口流出につながる懸念があります。 ○学校評価の清掃の項目で保護者の評価が高いのは、建設現場の美化に通じるところがあります。</p>
<p>対 応 等</p>	<p>① 1人1台端末の活用場面は、比較的増えてきている。引き続き、効果的な活用とメディアリテラシーについては、研修と実践を行いたい。 ② 広報活動については、これまでと同様に様々なメディア等を活用した広報活動を推進していきたい。 ③ 各種取り組みを継続できるように、校内での連絡体制を整えて、活動を続けていきたい。 ⑤ 本校で学びたいと思う生徒が増えるように、生徒の充実した学校生活を送れるように教育活動を行いたい。</p>